

おぢか

議会だより

第118号 2021.10.10



(柿の浜海水浴場)

contents

「たのすく」の海遊び

定例9月会議 2～

町長に質問 水産加工場 漁業者と担い手公社が互いに協力を . . 6～

町長に質問 「アフターコロナ」に向けて準備を進めて 8～

町内のいろいろな工事等のようす 10～

大賞受賞おめでとう！ 博多屋心さん 12

定例9月会議



教育長任命は不同意

その他はすべて全会一致で可決成立

決算審査は12月に

令和3年定例9月会議を9月10日から14日まで、5日間の日程で開催しました。

例年、この9月会議で決算審査を行っていますが、8月に本町監査委員の交代があつたことから監査が遅れ、それに伴い決算審査は定例12月会議で行うことになりました。

一般質問 2人が登壇

9月会議の初日は、夜間議会として午後7時から、傍聴者17名を迎えて開きました。

町長の行政報告に続き、議員発議の「コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書」を全会一致で可決しました。

一般質問では、末永一朗議員が「水産加工施設の今後の取組について」、今田光弘議員が「新型コロナウイルス感染症に関して」西



村町長の考えを質しました（6ページ）。
ただ

教育長任命は賛成少数

14日は傍聴者9名を迎えて午前10時から開催、小値賀町過疎地域持続的発展計画の議決、一般会計など3会計の補正予算が提案され、こちらもすべて全会一致で原案どおり可決成立しました。

また人事議案として、教育委員会教育長と教育委員の任命、固定資産評価審査委員会委員の選任について、議会の同意を求められました。

教育委員（中村好秀氏と横山明美氏）の任命と、固定資産評価審査委員会委員（岡野慶信氏）の選任については、全員が同意しています。

一方、9月末日で任期を終える吉元勝信教育長の後任として提案された、近藤隆二郎氏（11月8月に本町議会議員を辞職）の任命については、賛成少数で任命不同意となりました（詳細は4ページ）。



一般会計補正予算

令和 3 年度一般会計予算

9030 万円増額 39 億 3516 万円に

主なやりとり

今回の補正予算は、歳入では、町民税や地方交付税（普通交付税）の額が確定したことや、コロナ対策として国や県から支出金があったことにより、歳入は、被害森林整備事業で 6500 万円、コロナ禍による営業時間短縮協力金として 300 万円、葬斎場改修工事費の 1000 万円追加などが計上されています。

問 コロナ禍でありながら町税の税収が増えているのどうしてか。

答 コロナ関連の各種協力金などにより収入増となったためではないか。

問 飲食店の営業時間短縮協力金 300 万円の対象日はいつか。

答 当初予定していた 9 月 6 日までが、県のまん延防止等重点措置の適用により 9 月 12 日まで伸びたため、その 6 日間分だ。

問 若者向け短期滞在施設整備工事費の追加 100 万円の要因は。

答 世界的な木材価格の高騰と、県のコンクリート単価の見直しによるものだ。

問 道路改良工事費 330 万円を計上しているのは、町道筒井浦海岸線のどこか。

答 筒井浦から鳥山バス停までの間だ。

問 なぜ当初予算ではなく補正予算で計上したのか。

答 効率的なバス運行ルートを考えて中での案が出てきた。

改良工事を終えたうえで、来年度に運行ルートの変更申請の手続きを進める予定だ。

問 道の勾配や隅切りの整備のために、盛土が必要になるのではないか。この金額で足りるのか。

答 設計はこれからだが、路盤の改良などにより盛土は必要なく、この金額でいけると考えている。

特別会計補正予算

後期高齢者医療事業
下水道事業

30 万円増額
848 万円増額

5171 万円に
1 億 5952 万円に

意見書採択



意見書採択

意見書の趣旨説明をする宮崎議員

「コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書」

地方創生、雇用対策、防災・減災対策などへの対応をはじめ、財政的に厳しくなることが予想される社会保障などへの対応に小値賀町も迫られています。

コロナ禍によりさらに大きな影響が及び、このままでは地方財政は厳しい状況に陥ることが予想されることから、国に対し地方税財源の充実などを求めるものです。

（この発議には松屋治郎議員が賛成討論しています。）

定例9月会議

教育長の人事議案 議員の意見が分かれる



提案理由を説明する西村町長

定例9月会議の議案の中では、この教育長の人事議案だけ議員の意見が分かれました。

まず、近藤隆二郎氏を教育長に任命する理由を西村町長が説明、続いて質疑に移りました。

提案理由

近藤隆二郎氏は、昭和40年長崎市生まれの55歳です。

大阪大学から同大学院へと進み、その後和歌山大学の助教授、滋賀県立大学の教授を歴任されました。

2016年からはフリースランスとして各種ライティング業務に携わっており、また、8月までは小値賀町議会議員として活躍されていました。

人格は高潔で、とても真面目で温厚な方です。

教育行政に関しても高度な識見を有しており、近い将来、本町のリーダー的な存在として活躍されるものと確信しており、教育長として適任だと思います。

主なやりとり

議員辞職をさせてまで

議員のなり手不足と言われる中で、議員定数を確保できるよう、議会として努力してきた。

議員が1名減ると、議会運営は難しくなる。

議員を辞職させてまでして任命するというのは由々しき問題だ。

他の議員の負担も増え、議会運営は難しくなると思うが、本町の将来のことを考え、誰が本町を担っていくのかと考えたら、教育長は本町内では近藤氏以外にはない。

町本町や全国で、議員を教育長に引き抜いた事例はあるのか。

答 本町ではないが、全国的に見れば事例としてはある。

近藤氏に求めるものは

町教育長としての近藤氏に何を一番求めるのか。

答 外部からの客観的な視点が入ることで、現在の教育行政がより良い方向に進むのではないかと考えている。

町近藤さんの議員時代の一一般質問を聞くと、町長や教育長との考え方が違うように感じるが。

答 考え方ややり方が違い、衝突することもあるかもしれない。

しっかりと協議をすることで、むしろそれがより良い教育行政につながっていくのではないかと思っています。





※討論

自分の意見に反対する者や、賛否の意思を決めていない者を自分の意見に賛同させることを目的として、賛成または反対の意見を表明すること。
賛成または反対についての理由を明確にして論議すべきものとされており、原則として一人一回、反対者・賛成者の順に行う。

討論は省略せず

本町議会では、人事議案は慣例により**討論※**を省略してすぐに採決となります。

今回は討論を省略することに異議が出されたため、討論を行った後に採決することになりました。

これは現職議員を引き抜いて教育長に任命するという由々しき事態だ。
辞職願を出す前になぜ議長に相談に行かなかったのか残念に思う。
近藤氏は議員として折り返しの三年目に議会運営委員長としていろいろな計画を立案し、実現に向けて推進途中だった。
これらを途中で辞めて去って行く気持ちを推し量ることはできないが、忸怩たる思いがあったのではないか。
一期4年を全うしないで2年余りで辞める人が、果たして教育長という職を全うできるのか、私には訝しうてならない。

町長が近藤氏に教育長を打診し、了解した後に近藤氏は議員辞職願を出したと聞いた。
これは現職議員を引き抜いて教育長に任命するという由々しき事態だ。
辞職願を出す前になぜ議長に相談に行かなかったのか残念に思う。
近藤氏は議員として折り返しの三年目に議会運営委員長としていろいろな計画を立案し、実現に向けて推進途中だった。
これらを途中で辞めて去って行く気持ちを推し量ることはできないが、忸怩たる思いがあったのではないか。
一期4年を全うしないで2年余りで辞める人が、果たして教育長という職を全うできるのか、私には訝しうてならない。



反対

反対討論する浦議員

現在、町の人口減少がおさまらない中で、教育関係におけるいろいろな取り組みをより一層進めていかなければならない、まさに今がその時で、もし教育長が不同意・不在となると、迷惑を被るのは児童・生徒・教職員そして町民だ。

一期目でありながら、議会運営委員会委員長などの重責をこなし、彼がいたからこそこの2年半、本町議会としてもいろいろなチャレンジができた。
8人しかいない議員の一人を教育長に、というのは、町長が議会を軽視していると言わざるを得ないが、近藤氏は自らの退路を断って議員辞職願を出し、8月会議で許可され、現在はフリーの身分だ。
現在、町の人口減少がおさまらない中で、教育関係におけるいろいろな取り組みをより一層進めていかなければならない、まさに今がその時で、もし教育長が不同意・不在となると、迷惑を被るのは児童・生徒・教職員そして町民だ。



賛成

賛成討論する今田議員

議長辞職後に一町民として教育長へのお誘いがあつたのではなく、教育長に就任するために議員を辞職するのは、議員のあり方としては通らない。
また、議会の中にあつては、執行部のありようを変えることができないことも辞職理由の一つだと伺ったが、議会活動を通じて提言等ではできないではないか。
執行機関を監視する機能を持つ議会から執行機関への移行は、町民に対する裏切りとしか受け取れない。
議会の権威を落とし、首長と議会のあり方を乱すような今回の提案は看過できず、民意の反映や住民参加を積極的に進めてきた近藤氏ではあるが、先例を作らないためにも賛同することはできない。

議長辞職後に一町民として教育長へのお誘いがあつたのではなく、教育長に就任するために議員を辞職するのは、議員のあり方としては通らない。
また、議会の中にあつては、執行部のありようを変えることができないことも辞職理由の一つだと伺ったが、議会活動を通じて提言等ではできないではないか。
執行機関を監視する機能を持つ議会から執行機関への移行は、町民に対する裏切りとしか受け取れない。
議会の権威を落とし、首長と議会のあり方を乱すような今回の提案は看過できず、民意の反映や住民参加を積極的に進めてきた近藤氏ではあるが、先例を作らないためにも賛同することはできない。



反対

反対討論する宮崎議員



起立採決 「任命に同意」は1名（今田議員）

同意は少数 不同意に
起立採決の結果、任命同意に賛成する議員が少数だったため不同意となり、10月1日以後、教育長は不在となります。
新たな人選については、全くの白紙ということでは

「水産加工施設の今後の取組について」

漁業者と担い手公社が互いに協力を

町も取組について調整を図っていきます。

末永一朗議員

雇用場の創出と漁業者の所得向上につながる計画で造られた※水産加工施設だが、所得向上にはつながっていない。

施設を活かすための話し合いもしてきたが、前に進んでいない。

漁業者と指定管理者が互いに協力し合い、実になる事業へと前に進める必要がある。

スタッフが揃わないと事業は進まない

問 施設に専門的な人材を置く考えはないか。

答 西村久之町長

末永議員のご質問につきまして、ましては、運営者である小値賀町担い手公社に意向を確認しましたので、それをお伝えいたします。

水産加工担当者を地域おこし協力隊員として募集を継続して行っておりませんが、採用には至っておりません。

募集方法に関して、より多くの希望者へとアプローチできる方法を考えていきます。

問 パートタイマーの時間給を上げる考えはないか。

答 稼働日には、できるだけ長時間稼働し、その分の賃金をお支払いしたいと考えていますが、現状、どうしても短時間の稼働になっています。

さまざまな雇用の体系の中で、水産加工のパートの時給を上げるとは難しいと考えています。

なお令和元年度からは、業績に応じて賞与の支給を行うなど、待遇改善を行っているところ です。



末永一朗議員



あわび館の裏手が加工施設

※水産加工施設

雇用場の創出と漁業者の所得向上を図ることを目的として、小値賀町が平成 29 年度に 5127 万円（備品含む）かけて整備した。

指定管理者は一般財団法人小値賀町担い手公社。令和 3 年度には、離島漁業再生支援交付金のうち 790 万円を交付している。



未利用・低利用の魚を有効に

～私にも言わせて～

傍聴席からひと言
(模擬公聴会)

(答) 産業振興課中村課長
まずは人の確保。働く人が見つかるよう努力してほしい。
刺身なども安く売ってほしいが、原価計算をすると赤字になってしまうようだ。
このままの状態が続くのなら必要性を見直すこともあり得るが、今はまだ改善の余地があるのではないか。

町内で売られているのをあまり見かけない。収支がどうなっているのか心配だ。
このまま進展がなければ、加工場をやめるという検討も必要になるのではないか。



漁業者と情報共有を

もつと漁業者との話し合いを

調買取単価について、漁業者と話し合いをする考えはないか。

答 漁業者の皆さんには、積極的なご支援をいただいているにもかかわらず、進捗が鈍い点に関しておわび申し上げます。

未利用・低利用の魚の町内施設向けの販売を検討してきた中で、規模的にも合う小値賀町こども園とも協議を進め、サンプルを提出しています。

それが了承いただければ、今後の継続使用も見込まれると考えています。

魚体規格や、1日当たりの仕入れ量の上限を定めたい。うえて、漁協を含め買取に向けて話し合いを進めていきたいと考えています。

調 漁業者が魚を提供しても、冷凍したのか捨てたのか、何に使ったのか返事もない。
報告があれば、それが次の協力へとつながる。



答 情報共有がうまくいっていないことは担い手公社も認識しており、これからは文書でのやりとりを考えているようです。
町も、担い手公社の取組について、調整を図っていききたいと考えています。

～質問を終えて～

前向きな答弁には感じましたが、行政の長としての考えをもっと言ってほしかったと思います。

前に進めるとのことなので、漁業者も協力して事業が実になるよう、取り組んでいきたいと考えています。

「新型コロナウイルス感染症に関して」



今田光弘議員

今田光弘議員
本町の人口約2300人（ワクチン接種対象者は約2150人）のうち、2回の接種を終えた人は約1900人。接種対象者の接種率は90%近くに達している。

問町内で接種できるのは9月までだが、ワクチンほどのくらい余るのか。余ったワクチンの取り扱いはどうなるのか。

答ワクチンは60バイアル※ほど残る見込みで、使用期

未接種者へ接種の呼びかけ 町からは
限が9月末のため、ワクチンが不足している他市町へ譲る予定です。

問ワクチン接種の効果は高いとされている。接種していない人たちに接種を促すメッセージ、アピールを町として出した方がいいのでは。

答接種が義務であると感じてしまう表現は避けながらも接種をお願いする文面とし、接種による効果とリス

※バイアル

ワクチンの原液が入っている瓶のこと。これに生理食塩水を加え、1バイアル当たり6回分程度の接種ができる。

問ワクチン接種を完了していない観光客に「今は島には来ないで」とお願いすることはできないか。

答ワクチン接種は義務ではなく、接種できない人もいるため慎重な対応が必要で、今の段階では考えていません。



クを記載したメッセージを個別に送りたいと考えています。

問プライバシーの点から、個別にはなく、広く町民に知らせる形の方がいいのでは。

答検討します。

問まん延防止等重点措置が解除されたら町民への注意喚起をゆるめ、ワクチン接種済証があれば、観光客もPCR検査不要で来島を受け入れていいのでは。

答県内の感染状況が落ち着けば、町民への注意喚起は、もちろん緩めたいと考えています。

接種済証については慎重な対応が必要で、また、接種したからといって感染しないわけでもありません。

ただ、コロナが完全に収束することは難しく、今後はいかに「コロナと共存」していくかを考えていくことが重要です。

観光客の受け入れ方法について、議員の提案も含め、関係する皆さんと協議しながら対応していきたいと思っています。

「アフターコロナ」に向けて準備を進めて

「コロナと共存」しながら体制整備を図ります



※エッセンシャルワーカー

日常生活における、必要不可欠な仕事（エッセンシャルサービス）を担う労働者のこと。

生活の根幹を支える医療や福祉、インフラ関係、保育や第一次産業、役場や消防・警察、物流や小売業などで働く人。生活必須職従事者。



使用期限が過ぎたら使えません

問 コロナ対策第4弾として、今までは全町民に配布していた商品券をエッセンシャルワーカー※の皆さんに限り配布してはどうか。

答 本町は町民全員で感染拡大防止に取り組んでいるため、商品券等を配布する場合は、感謝の意味を込め、すべての町民に配布したいと考えています。

「安心して暮らせる小値賀町」を前面に

問 世の中での疲れている人たちが等身大で受け入れ、本当の本町の良さ、豊かさ、安心安全が実感できれば、それがアフターコロナ時代の観光資源・移住者対策のひとつになると思う。

「安心して暮らせる小値賀町」をキーワードにし、町がリーダーシップを発揮して、町民を巻き込んでピンチをチャンスに変えるアフターコロナを目指してほしいと思うが。

答 感染リスクが高い都市部から地方への移住への意識が高まり、安心安全を求めて地方を目指す人や企業が増えていることは確かです。

本町でも「安心して暮らせる小値賀町」としてアフターコロナをめざすには、サテライトオフィスやワーケーション、町民や観光客との触れ合いの場の提供、町有住宅といった労働環境や住環境の整備、観光資源の保全、教育、保健、医療、福祉のさらなる充実が必要

です。

町民皆様のご意見などを伺いながら、アフターコロナに向けて体制整備を図っていきたいと考えています。

～私にも言わせて～

傍聴席からひと言
(模擬公聴会)

観光業者は予約客に対し、来島自粛を呼びかけていると思うが、町民にはそこが伝わっていない。町が対応のマニュアルを作って関係業者に指導してはどうか。

(答) 産業振興課松崎理事

コロナ対策のガイドラインを遵守するよう指導している。

安心安全のための啓発に努めていきたい。



あわび館の有効活用も視野に

～質問を終えて～

人類が初めて経験する新型コロナウイルス感染症。今はいろいろなことの正解がわからない中ですが、コロナ禍の中で、むしろ小値賀の良さをあらためて感じた町民の皆さんも多いのではないのでしょうか。コロナのピンチをチャンスに活かしたいですね。

町内のいろいろな工事等のようす

～日ごろから議会も現地に出向き、状況の把握に努めています～

議会だより第117号の冒頭記事で取り上げた、町に寄附された旧小西邸については、町が建物を詳しく調査した結果、近代における本町の経済発展を象徴する重要な建物であることがわかりました。文化的景観保護推進審議会（町の外部団体）の提言などを受け、解体工事は中断しています（屋根瓦の飛散防止ネットは設置済）。

現状保存に向け、修復や活用方法について協議を進めるとのことです、議会はこれからもお一層注視していきます。



旧小西邸

町に寄附された旧津田耕平商店倉庫の解体工事を9月10日から進めています。老朽化が著しく進行していますが、旧笛吹本通りに面して建つ、伝統的な商家建築でもあります。

今後は、従前の景観に配慮した復元工事や用途など、住民の意見も伺いながら検討していくとことです。



旧津田耕平商店倉庫

請負：(株)細川建設
金額：484 万円
工期：10 月末

移住者を受け入れる住宅を筒井浦地区と木場地区に計5棟建設。

コロナ禍による人流制限などの影響により予定より時間がかかりましたが、9月末に完成します。



お試し居住施設

請負：(株)友建設
金額：7376 万円
工期：9 月末

若者向け短期滞在施設（ふるさと留学制度の留学生の寮）は、コロナ禍による人流制限などの影響により着工が遅れました。

11月末には完成予定で、12月には留学生3名が入寮します。

来年度には最大で9名がここで生活します。



ふるさと留学生の寮

請負：(株)細川建設
金額：7590 万円
工期：11 月末

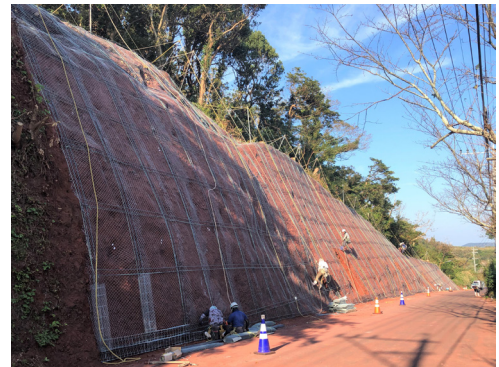
新しい診療所建設



昨年度からの継続事業。
雨が多いと赤土は滑ることから杭の工事が遅れていましたが、9月上旬に約1か月遅れで終わりました。
現在、建物本体の建築工事に取りかかっています。

請負：JV(株)上滝・大石建設(株)
金額：12億4740万円
工期：令和4年5月22日

町道唐見崎線防災工事



コロナ禍による人流制限などの影響により、工事着工が1か月遅れて始まりました(1工区)。
次の工区については、地権者との用地買収交渉に時間がかかっており、今のところ発注時期は未定のようです。

請負：(有)出口建設
金額：4697万円
工期：令和4年1月末

葬斎場改修工事



コロナ禍や佐世保港の可動橋の事故などの影響と、施設を稼働させながらの工事になるため遅れています。
9月末には第1期分(主に外回り)の工事が完了します。

請負：(株)細川建設
金額：2662万円
工期：9月末

その他の主な工事

若者交流センター防災工事	(株)細川建設	424万円	令和3年9月16日完了
和楽苑防災対策工事	中川建具店	80万円	令和3年8月10日完了
葬斎場改修工事(第2期)	10月上旬入札予定 令和4年3月末完了予定		
町道小浜中線道路改良工事	前年度繰越予算の工事を優先しているため未着手		
可燃ごみ島外搬出用施設整備工事	10月中に入札予定 令和4年3月末完了予定		
テニスコート照明設備取替工事	10月中に入札予定 令和4年3月末完了予定		
旧野首天主堂の補修	県の文化財のため補修方法も含めて県と調整中		

※財産の取得

本町では、予定価格 5000 万円以上の工事や製造の請負、予定価格 700 万円以上の不動産や動産の買入れや売払いには議会の議決が必要と条例で定めている。

財産の取得



7 月会議

令和 3 年 7 月 8 日

財産の取得

消防ポンプ自動車 1 台

落札：株式会社ヤナセ防災（一般競争入札）
取得価格：2145 万円
落札率：96.6%



このタイプ（写真は 6 分団）

7 月会議では**財産の取得※**（消防ポンプ自動車）について審議し、全会一致で可決しました。
令和 4 年 3 月までに第 2 分団に配置の予定です。

工事請負契約締結



7 月第 2 回会議

令和 3 年 7 月 26 日

工事請負契約締結

町道野崎本線無電柱化工事（2 工区）

落札：株式会社細川建設（一般競争入札）
取得価格：6259 万円
落札率：98.1%



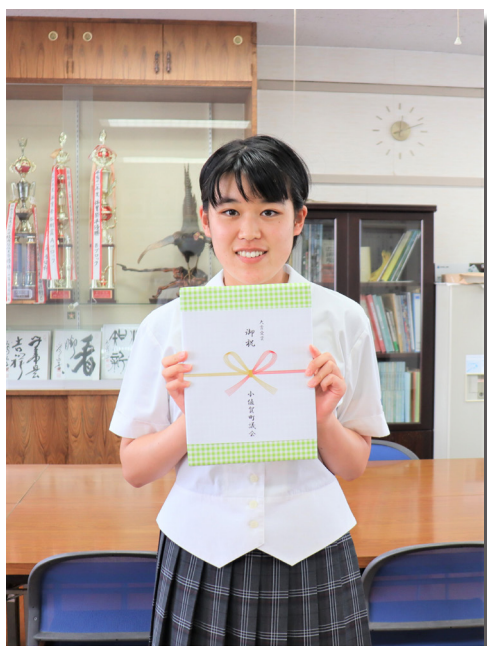
旧野首教会 階段下～水道施設下が無電柱に

7 月第 2 回会議では、野崎島の町道の無電柱化（2 工区）工事請負契約の締結について審議、全会一致で可決しました。
また、村田宏司氏の後任となる小値賀町監査委員を前方郷の大田一夫氏とする選任について、全員異議なしで同意しました。



大賞受賞！おめでとう

共通テーマ：私たちが描く、この未来（さき）の地域医療



議会からもお祝いを贈りました

※自治医科大学

昭和 47 年に、へき地医療と地域医療の充実を目的に設立された栃木県にある私大。

地域医療の担い手を育て、地域医療のあり方を提案し続けている。

全寮制で密度の高い教育を行い、医師国家試験の合格率は 2013 年から連続して全国トップ。



自治医科大学※は、毎年、次代を担う高校生と一緒に、身近な地域医療のこれからのあるべき姿を考えたいとの思いから、「私たちが描く、この未来（さき）の地域医療」をテーマとした小論文・スピーチ動画コンテストを実施しています。

大賞に選ばれて、北松西高校の生徒も先生も驚いたようですが、一番びっくりしたのは本人だったようです。

将来は小値賀で医療関係の仕事をしたいとの強い意志を持っている心さん、今は大学を目指し、受験勉強をがんばっているとのことでした。

議会アンケート

コロナ禍により、町民の皆さんのご意見を直接お聞きする機会が少なくなっています。

そこで、より良い議会を目指すため、町民の皆さんを対象に、議会活動に関するアンケート調査を行いました。忙しい毎日のなか、1600名を超える多くの方々にご協力をいただきました。

また、自由記述やコメントもたくさんいただき、大変ありがとうございました。

これらを全議員が共有し、議員活動・議会活動に活かすことが重要です。

アンケートのパソコンへの入力は終えましたが、自由記述の集計や分析には少し時間がかかりそうです。

「議会だより」では概要を、議会ホームページで全内容を公表しますので、もうしばらくお待ちください。

11. あなたは、議会の制度、施設をどう思うか？ (1つだけ)

12. あなたは、「さき」の未来について、どう思うか？ (1つだけ)

小値賀町議会の活動に関するアンケート

1. あなたの年齢は？ (1つだけ)

2. あなたの性別は？ (1つだけ)

3. あなたの職業は？ (1つだけ)

4. あなたの政治信条は？ (1つだけ)

5. あなたは、議会にどのような役割があると思うか？ (1つだけ)

6. あなたは、議会をどう評価しているか？ (1つだけ)

7. あなたは、地方自治の現状についてどう思うか？ (1つだけ)

8. あなたは、「さき」の未来について、どう思うか？ (1つだけ)

9. あなたは、議会のホームページをどう思うか？ (1つだけ)

10. あなたは、議会のホームページをどう思うか？ (1つだけ)

突撃取材 シリーズ9回目

～ すき間時間にも開いている～

「Cafe 魚々菜（ととな）」の田村美鈴さん

起業や事業拡大などで雇用を増やす取り組みをする意欲がある人に、国・県・町が補助金を出す事業が5年目に入っています。町ににぎわいが戻ってきたような気がします。



店内の座敷 ステキな器や木のテーブルで落ち着きます

早朝や午後のひと時にくつろげる空間を

斑島出身の田村さんがUターンして、何カ月もかけてほとんど自分で内装を作り上げた古民家カフェの「魚々菜（ととな）」。

午後のゆったりした時間に利用できるカフェがないことや、フェリー太古で到着して仮眠しても、朝食の場所がなくて困っている人がいることがすぐく気になつていたそうです。

そのため、通常は朝7時から（連絡をいただければ5時から）夕方4時までの通し営業で、さらに夜は6時から9時まで開いているそうです（水曜定休）。



フットワークの軽い田村さん
役場の前の南に進む道沿いです

ランチ時以外は一人で切り盛りしており、「労働時間はかなり長いですが、もう慣れました」と笑顔で話してくれました。

コロナ禍もあって収支的にはトントンとのことですが、地元の方々に喜んでい

ただけるメニューで、このお店をずっと続けていきたいとのことでした。

なお、以前は国会関係の仕事や都議会議員の秘書を長い間務めていたそうので、現在は小値賀町議会モニタ―をお願いしています。

労働時間は長いがもう慣れた



定番と日替わりメニューが



(表紙の写真)
「たのすく」の海遊び

お天気に恵まれた「たのすく」(小値賀町放課後児童クラブ)の海遊び。

コロナ禍という中で2回目の暑い夏でしたが、皆さんそれぞれ工夫して過ごされたのではないかと思います。

いろいろな行事が中止となった今年ですが、来年はもっともっと自由に遊べる夏になるといいですね。

おらせ

「ギカイの窓」開いています

小値賀町議会では、町民の皆さんのいろいろな意見を伺い、議会活動へ反映させようと「ギカイの窓」を開設しています。

定例9月会議の議決についての疑問など、実際に多くのご意見が寄せられています。

議会に対する質問、意見、要望、相談や提言など、町民の皆さんが議員や議会に直接相談できる場で、まずは電話かメールで、議会事務局にご連絡ください。

相談は原則として、役場3階の議員控室で行います。

相談する議員は指名も可。指名がなければ、相談内容により当方で決めます。

相談内容の公開は、原則としてご希望に応じます。

なお、公共の福祉に反すること、個人的な要望、議員や役場職員に対する苦情などには対応できませんのでご了承ください。

電話 0959-56-3111 役場内議会事務局

メール gikaisodan@town.ojika.lg.jp



換気しよう

小値賀町議会
Facebook



編集 小値賀町議会広報常任委員会
発行責任者 小値賀町議会議長
電話 0959-56-3111



マスクしよう

編集後記

大ニュースが入った。自治医科大学の今年の高校生小論文コンテストで、北松西高校3年生の博多屋心さんが大賞に選ばれたのだ。

未来の地域医療を「地域住民の安心な生活を守る存在」として描いている。

島民の医療へのニーズに関する調査を行い、その結果を基に、先進技術を利用した医療環境の整備と、診療所のターミナルケアの充実の重要性を訴えた。

「将来、自身が救急医療を学び、小値賀の医療を担う存在になりたい。」

「島民の安心した生活を第一に守ることで、私を育ててくれたこの島と島民の方へ感謝の気持ちを込めた恩返しをしたい。」

その崇高な志と優しさに久しぶりに大感動。

目標に向かって元気にがんばってください。

(編集長 松屋治郎)